

埼玉県U12バスケットボール大会兼県民総合スポーツ大会参加にあたって

晩秋を迎え、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

子どもたちにとって素晴らしい思い出になる大会になるよう皆様のご協力を宜しくお願い致します。

その為に、下記注意事項をチーム代表者は確認し、チーム内（指導者・選手・保護者）に周知徹底した上で参加して下さい。
各支部より推薦されたチームが参加されますので、大会の趣旨及び運営に関わる注意事項など、よりご理解いただけると幸いです。
何卒、宜しくお願い致します。

1 大会エントリーについて

プレーをする資格のある登録競技者が15人以下のチームは全ての登録競技者をエントリーし、スコアシートに記入して下さい。

プレーをする資格のある登録競技者が15人以上のチームは全ての登録競技者をエントリーし、スコアシートに15名記入してください。

※2024年7月21日（日）までに、JBA登録完了した選手が試合に出場できます。

当日、各チームにて準備していただいた、スコアシート選手欄（1～2枚）は、大会本部にて参加資格等の確認を致します。

2 ゲーム運営を円滑に行うため、ゲーム開始5分前までに各ヘッドコーチまたはその代理者は、最初に出場する5人のプレーヤーを明示してください。チームA（淡色）が先にこの情報を提供します。

スコアシートにはコーチ名を記載しておき（2名）、最初に出場する5人のプレーヤーを明示する際のコーチのサインは不要とする。

インターバル及びハーフタイムでは、直ちに次の出場プレーヤーを明示してください。

※インターバル（1分）では、選手を速やかに登録すること。（選手がT0前に来るように）

※ハーフタイム（5分）では、開始3分前までにコーチがT0に出場選手の番号を伝え、開始1分前にチームA（淡色）から、出場選手の確認を行うこととする。

3 大会使用コート

本庄総合公園体育館（初日・男子）は、入口より手前から A・B・C コート

行田市総合体育館（2日目・女子）は、入口より手前から D・E・F コート

行田市総合体育館（3日目・男女）は、入口より手前から a・c コート

春日部市立庄和体育館（3日目・男女会場）は、入口から x・y コート

4 各会場とも廊下、階段、ロビー等でランニングやボールを使うトレーニングは原則禁止となります。

5 T O（テーブル・オフィシャルズ）については、全日程参加チームで行います。

6 T O（テーブル・オフィシャルズ）を担当するチームは、必ず指導者が後ろに立って指導して下さい。

7 各ゲームにMC（マンツーマン・コミッショナー）を配置します。11月2日・3日は、原則帯同MC1名と派遣MC1名の体制で行います。マンツーマンの推進にご理解とご協力をお願いします。

8 自チームから出たゴミ（お湯・氷を含む）は、必ず持ち帰って下さい。

また、最終ゲームとその前のゲームのチームには、後片付けと清掃のご協力をお願いする事がありますので、ご了承ください。

9 大会参加中における、ケガなどの責任は各チームで負って頂きますが、大きなケガをした場合、大会本部まで至急連絡を下さい。

10 大会開催期間中、置き引きまた盗難が発生したことが過去にありました。

各チームとも、絶対に荷物から目を離すことなく、事故の無い様に自己管理の徹底をお願い致します。

11 各会場の電源は利用施設側より、使用禁止とされております。絶対に使用しないで下さい。（今後の施設利用ができなくなります。）

12 大会参加チームは、駐車票にチーム名を表記し車両フロントに必ず提示して下さい。

13 ゲーム中、または、ゲーム外でも礼儀と友好を忘れずに、最後まで気持ちのいい大会になるようにご協力をお願い致します。

14 参加選手は、必ず保護者付き添いのもと更衣室で着替えて下さい。

15 撮影に関しましては、撮影者される方の所属チームが分かる様にして下さい。また会場毎にのルールを遵守して下さい。

16 大会時に写真業者が入ります。（大阪フォトサービス/プロフォートサニー）

17 参加チーム全体の指導者打合わせは、行いません。

問い合わせ先：埼玉県U12カテゴリ一部会競技担当 竹田

宛先：sba.u12category.kyougai@gmail.com

「JBAバスケットボールファミリー安心安全保護宣言」 抜粋（2021年9月9日）

ユニセフ「子供の権利とスポーツの原則」に基づき、指導者そしてJBAとしての方向性の「JBAバスケットボールファミリー安心安全保護宣言」として明確にすることにより子供たちが楽しく、安心して、安全にバスケットボールに打ち込めるよう、暴力や暴言、ハラスメントのない健全なバスケットボール環境を実現する。

- 1 **【クリーンバスケット・クリーンザゲーム】** 暴力暴言を根絶します。 **【暴力暴言根絶】**
- 2 リスペクト・フェアプレーの精神を推進します。 **【リスペクト・フェアプレー精神】**
- 3 子どもの意見・発言を尊重し主体性を育みます。 **【子どもの主体性尊重】**
- 4 コーチライセンス制度を充実・普及させ、良い指導者を養成・配置します。 **【指導者の資質向上】**
- 5 子どもの成長のために保護者と連携します。 **【保護者との連携】**
- 6 子どもの安心安全なバスケット環境を整備します。 **【セーフガーディング】**
- 7 年齢・性別・障がい・人種等で差別のないバスケットボールファミリーを目指します。 **【差別をなくす】**

「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶～」 抜粋（2019年3月11日） ゲーム中のコーチによるプレーヤーへの暴言、暴力的行為に対する対応方針（ガイドライン）

JBA では、インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）に則り、「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」を推進していきたいと考えています。

これは、ゲームに関わるプレーヤー、コーチ、レフェリー全ての協力でゲームの価値を高めようとする取り組みであり、ゲームを尊重する精神

「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」にそったものでもあります。

バスケットボールのゲームは、ゲームに関わる関係者のみならず、観客の存在も欠かすことができません。

プレーヤー、コーチ、レフェリー、観客も含めてゲームの価値を高める努力をすることが必要です。

そして、そのためにはコーチの振る舞い（行動や行為）も非常に重要になってきます。

コーチの振る舞いは、ゲームに関わる関係者（プレーヤー、レフェリー）に直接影響があるだけでなく、ゲームを観ている観客の方々にとっても大きな影響を与えます。

そこで、コーチの振る舞いについてある一定の基準を設けてテクニカルファウルの対象とし、ゲームの価値を下げない取り組みを推進することとしました。

【テクニカルファウルの対象となる振る舞い（行動・行為）】

1. コーチのプレーヤーに対する暴言
 - （1）人格、人権、存在を否定する言葉 〈具体例〉 最低、クズ、きもい、邪魔、出ていけ、帰れ、死ぬ、ためえ、この野郎、貴様
 - （2）自尊心を傷つける、能力を否定する言葉 〈具体例〉 役立たず、下手くそ、アホ、バカ
 - （3）身体的特徴をけなす言葉 〈具体例〉 チビ、デブ
 - （4）恐怖感を与える言葉 〈具体例〉 殴るぞ、しばくぞ、ぶっとばすぞ、帰りたいの？、試合出たくないの？
2. コーチの暴力的（攻撃的・虐待的含む）振る舞い（行動・行為）
 - （1）殴る・蹴るなどを連想させる行為
 - （2）プレーヤーと近接（顔の目の前、腕一本分より近い距離）して高圧的威圧的に指導する行為
 - （3）「おい！」「こら！」と大声でプレーヤーを高圧的威嚇的に指導する行為
 - （4）継続的、かつ、度を越えた大声でプレーヤーを指導する行為、いわゆる怒鳴りつける行為
 - （5）物に当たる、投げる、床を蹴るなどの行為
3. 第三者が不快と感じる振る舞い（行動・行為）
 - （1）不潔な服装、裸足やスリッパでの指導

テーブルオフィシャルズ（TO）への支援について

ミニバスケットボールは、テーブルオフィシャルズ（TO）が未熟な場合があり、ゲーム中の処置などにミスが起こることが考えられます。

しかし、ベンチや観衆はそれを非難することなく、同じミニバスケットボールをしている仲間として寛容に対処すべきだと考えます。

ご理解とご協力をお願い致します。しかし、テーブルオフィシャルズ（TO）は、その寛容に甘んじることなく、プレーヤーやベンチがその力を最大限に発揮できるよう、常に普段からの技術の向上に向けて努力すべきことは言うまでもありません。

保護者の応援について

保護者の方々の応援は、ミニバスケットボールの性格上、必要不可欠なものといえます。

「JBAバスケットボールファミリー安心安全保護宣言」 「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶～」

この2点の趣旨を十分にご理解いただき、選手と指導者と共に大会への参加をお願い致します。